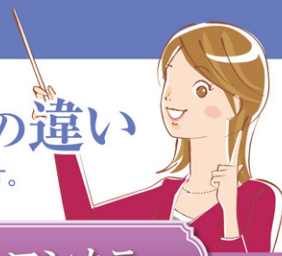


# ホームカラーとサロンカラーの違い

ホームカラーとサロンカラーには、薬剤や仕上がりの違いがあります。



## ホームカラー

自宅で手軽に行え、安価な点が魅力ですが、仕上がりの調整が難しいだけでなく、カラー剤の成分が髪に残りやすいためダメージの原因になります。

## サロンカラー

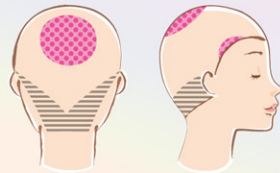
美容師が、一人ひとりの髪質やダメージの状況に応じてヘアカラー剤や塗り方を選び、ケアまで行うため、髪への負担を最小限に抑えることが可能です。

ヘアカラー剤のニオイを抑えて、自宅でも使用しやすくするため、「モノエタノールアミン」という成分がよく使われています。施術後も髪に残りやすく、キューティクルを開いたままにするので、髪の中の栄養分が流れ出る原因になります。	薬剤	アルカリ剤には「アンモニア」を使用しています。揮発性が高いため、髪に残りにくいことが特徴です。
ヘアカラー剤の塗りムラや、温度による染まりやすさの違いによって、色に多少のムラがある仕上がりになることがあります。また、髪が伸びてきたただけ染める場合、塗り分けが難しく、ダメージの原因になります。	仕上がり	プロが髪のダメージの状態や、温度条件等を考慮してヘアカラー剤を選んで塗るので、色ムラのない仕上がりになります。
仕事や家事で忙しくても、自分の都合のいい時に気軽にヘアカラーを楽しめます。	メリット	髪の状態に合わせたヘアカラー剤選びから、トリートメントまで一貫して行うことで、髪への負担を最小限に抑えられます。

## ご存知ですか? 『染まりやすい場所』と『染まりにくい場所』

同じヘアカラー剤を使っても、染まりやすい場所と染まりにくい場所があります。

- 染まりやすい場所: 頭頂部、額の左右
- 染まりにくい場所: 襟足部分、毛先



## 染まり方の違いは『温度差』によるもの

人の髪は、場所によって温度が異なります。頭皮から近い根元部分や、頭頂部の髪は、他より温度が高くなっています。ヘアカラー剤は、温度が高いほどよりよく反応するため、同じ条件で塗っても、髪の温度が高い部分だけが明るくなります。これが仕上がりにムラが生じる原因の1つです。

**Check!** サロンでは、このような温度差を考慮してプロがカラーを行うため、色の仕上がりが均等になります。

# サロンカラー + 毎日のケア = キレイな髪色が持続

## ヘアカラーについて学びましょう

～ホームカラーとサロンカラーの違い～

見た目の印象を軽やかにしたり、個性的な表現もできる「ヘアカラー」。最近では約6割の女性がヘアカラーを行っていると言われ、白髪隠しを目的としたヘアカラーだけでなく、おしゃれヘアカラーもすっかりメジャーになりました。

ヘアカラーは、ドラッグストア等で購入したヘアカラー剤を使って自宅で行う「ホームカラー」と、サロンで行う「サロンカラー」に分けられます。

ホームカラーのヘアカラー剤は安価で手に入り、近年では種類も豊富になってきました。しかし、自分では塗りにくい部分もあり、仕上がりにムラができてしまうことがあります。また、サロンカラーとはヘアカラー剤の成分も異なります。

サロンカラー用のヘアカラー剤に用いられるのは、髪に残りにくい成分です。また、一人ひとりの髪の状態に応じて、ヘアカラー剤の量や放置時間等を調整し、ダメージを最小限に抑えることが可能です。髪にやさしく、美しいカラーを長く持続させるためには、プロの手に任せるのが安心です。

## ヘアカラーによるダメージ度CHECK

- 短い期間にカラーを繰り返している
- いつも自宅でホームカラーを行っている
- ヘアカラー後すぐに色落ちてしまう
- ヘアカラー専用ケアは行っていない

**WARNING**  
1つでも当てはまったら要注意!

## ヘアカラーのダメージを最小限に抑える プロのケア

多くのサロンでは、ヘアカラー剤による髪と頭皮へのダメージを最小限に抑えるため、前後に専用のトリートメント処理が行われます。

- ヘアカラー前: ●頭皮の保護  
ヘアカラー剤による刺激から頭皮を保護します。
- 髪の補修  
髪表面のキューティクルのダメージや髪内部の物質の流出を抑え、ヘアカラーの染まりを向上させます。
- ヘアカラー後: ●髪に残った薬剤成分の中和  
髪に残留したアルカリ剤を中和し、ヘアカラーの褪色を抑え、仕上がりにツヤを与えます。

## あなたに似合う髪色は? 瞳や肌の色などを参考にして、あなたに似合う色を見つけよう

### 瞳の色

- 瞳が黒い: 瞳が黒に近い茶色  
似合う髪色: すこし暗めのカラー
- 瞳が明るい茶色  
似合う髪色: 明るめのカラー

### 肌の色

- ピンク系の肌: 似合う髪色: 赤みの入った暖色  
レッド系/レッドブラウン系/ピンク系  
PLUS ONE! この肌タイプの人は、青みがかったピンクやローズレッド系のチークやリップがよくなじみます。
- イエロー系の肌: 似合う髪色: 赤みを抑えた色  
オレンジ系/イエロー系/ベージュ系/アッシュ系  
PLUS ONE! この肌タイプの人は、オレンジ系やゴールドベージュ系のチークやリップがなじみます。

微妙な色味のの違いで仕上がりの印象が大きく変わります!

